

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 金沢市立泉小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒921-8031
金沢市野町3-11-1

E-mail izumi-e@kanazawa-city.ed.jp

Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/izumi-e/

児童生徒数 男子 282名 女子 274名 合計 556名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

■ 3年生 「人とつながるまち 金沢」

「地域の伝統文化を探ろう」では、校区の獅子舞について調べたり体験したりした。それぞれ獅子舞について知りたいこと、疑問に思ったことなどを学習課題にして調べ学習をした。資料から分からないことを、公民館の方から話を聞き体験することで、獅子舞について理解を深めるとともに伝統芸能を復活させたり継承させたりしていく地域の人たちの熱い思いに触れ感じ取ることができた。

「金沢の和菓子、茶道を学ぶ」では、職人の和菓子作りの技を身近に見て学んだり和菓子作りを体験したりする学習を行った。児童は、金沢が昔から日本でも有名な和菓子扱であり、和菓子には季節を大切に作る心や作った人や贈る人の思いや願いが込められていることに気づくことができた。また、茶道教室では、今も生活に根付く情緒豊かな生活風習を味わうことができた。これらの経験を通して、伝統文化の良さを大切にしていこうという思いを強くもつことができた。

■ 4年生 「伝統を守り生かすまち金沢」

金沢の伝統工芸の一つである加賀友禅の魅力を探る学習を行った。

加賀友禅の大まかな歴史や制作過程などは自分達で調べることができたが、実際にどのようにしてつくるのか、どのような苦労や工夫があるのか等たくさんの疑問が出てきた。そこで地域の加賀友禅に携わる木村芳雄先生、藤村建雄先生にご指導いただきながら、世界に一枚だけのオリジナル加賀友禅を制作し学んでいくことにした。各工程では、先生方の繊細なお手本に感心しつつ、自分でやってみて改めて手作業の難しさを実感していた。図案→下絵描き→糊置き→彩色と進むにつれ、少しずつ自分の作品が仕上がっていく過程が良く分かり、次の活動や仕上がりを楽しみする姿が見られ興味関心がさらに深まっていった。作品の完成後、これまでの制作を通してさらに疑問に思ったこと等を職人さんに質問したが、初めの疑問に比べ職人さんの思いや生き方に触れるような疑問が多く質問されていた。加賀友禅の制作を通して、技術に対してだけでなく、この仕事を長い間続けてきているお二人の先生方の仕事に対する思いについても興味をもち、一つの仕事に打ち込む素晴らしさを感じ取ることができた。学習後の児童のふりかえりでは、「できあがった作品を一生大切にしたい」「職人さんが手間をかけて一生懸命つくっているからこそ美しく魅力的な作品になっていると思う」「加賀友禅は着物以外にネクタイや文鎮などの小物も制作されていて驚いた」「これからも金沢の伝統工芸を大切にしていきたい」など金沢の伝統文化を誇りに思う気持ちが表れていた。

■ 5年生 「環境にやさしい町 金沢」

1学期は、地域の自然環境に目を向け、医王山の自然について調べる学習を行った。各種資料から医王山の環境や動植物、医王山が県立自然公園に認定されていることなどについて調べた。6月の医王山登山では、珍しい植物や生き物について、登山の案内をして下さる方のお話を聞いたり実際に観察したりした。学習の振り返りや感想では、医王山にはまだ貴重な自然が残されていることについて、「これからも大切に守っていきたい」や、「豊かな自然があることを広めたり、山にごみを捨てたりしないなど自分達にできることをしていきたい」などが多く書かれていた。

2学期は、地域の人たちが豊かな自然環境の中でどのような食文化を育んできたのかを知るために、加賀野菜や郷土料理について調べた。加賀野菜については、加賀野菜を守り発展させていくための取り組みや自分達にできることを調べたり考えたりした。加賀野菜を守っていくためには、消費を増やすことも大切であることを学習した子ども達は郷土料理について調べたり、自分達でも加賀野菜をおいしく食べるために、源助大根を育てて実際に料理を作ってみたりした。この学習を通して、地域の食文化を大切にすることや生産者だけでなく、消費者の立場でも守っていく意識をもつことの大切さを考えることができた。

■ 6年生 「観光案内をつくって魅力を伝えよう」

金沢学びタイム「ふるさと・金沢のまちを学ぶ」の学習では、国語科「町のよさを伝えるパンフレットを作ろう ようこそ、私たちの町へ」との関連を図り、地域の魅力が伝わる観光案内づくりを行った。

本校の校区には寺町寺院群や西茶屋街といった金沢を代表する観光スポットが数多く存在する。また、新幹線開業に伴い、本校の周りも多く観光客でにぎわっている。なかでも子どもの観光客に焦点を当て、自分たちの目線で、どこをどのように紹介すればよいか話し合い、取材の計画を立てた。取材は大きく3方面に分かれ、地域のお寺やお店の方々にお話を聞くことができた。取材で初めて訪れたという児童も少なくなく、まして実際にお話を聞くという機会は大変貴重な経験だった。なかには放課後にも取材しきれなかったことを聞くために、個別に取材に行った児童もあり、意欲の高さが伺えた。

できあがった観光案内は地域のホテル、西茶屋街の休憩所、金沢駅の観光案内所に置かせていただくことができた。実際に多くの観光客の方に読んでいただき、その評価を児童に返すことにより、達成感を味わうことができた。地域の方々との触れ合いを通して、金沢というまちの魅力を再認識することができた。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

■ 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他()